

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ
 コード番号 8354 URL <http://www.fukuoka-fg.com/>
 代表者 (役職名) 取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東大福
 TEL 092-723-2502

(氏名) 谷 正明
 (氏名) 横田 浩二
 特定取引勘定設置の有無 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	192,925	△9.6	25,406	137.2	29,548	—
21年3月期第3四半期	213,378	—	10,711	—	951	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	34.33	—
21年3月期第3四半期	0.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	11,655,826	637,799	4.8	644.43
21年3月期	11,781,256	589,941	4.3	588.33

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 561,426百万円 21年3月期 513,528百万円

(注1)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率(第二基準)」は、確定次第別途開示いたします。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
22年3月期	—	4.00	—		
22年3月期(予想)				4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	264,500	△5.9	33,700	988.7	28,000	27.7	32.37

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4・その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 859,761,868株 21年3月期 859,761,868株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 3,105,292株 21年3月期 3,066,972株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 856,672,905株 21年3月期第3四半期 856,398,058株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる結果となる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

■第一種優先株式

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7 00	—	7 00	14 00
22年3月期	—	7 00			14 00
22年3月期(予想)			—	7 00	

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の我が国の経済は、国内外における各種経済対策の効果から、輸出や生産に持ち直しの動きが見られた一方で、中小企業の業況や個人の雇用・所得環境については依然厳しい状況が続きました。またデフレや為替変動など、景気の先行きにはなお不透明感が根強く残っております。

金融面では、日経平均株価が1万円を挟んだ上値の重い展開となり、米ドル相場は一時84円台に急進する場面もありましたが、概ね90円近辺で推移しました。また、長期金利は金融緩和策の継続観測と大規模経済対策による財政規律への懸念という材料間で上下する展開となりました。

このような経済環境のもと、当社グループは中期経営計画の最終年度にあたり、経営インフラ整備の総仕上げとして子銀行3行間の事務・システム統合を平成22年1月に完了いたしました。また、顧客リレーションとリスク管理態勢の強化により地域金融の円滑化に積極的に取り組むとともに、コンプライアンス態勢、コーポレートガバナンスや内部統制の一層の充実を図り、収益力、財務体質の強化に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の主要損益につきましては、連結経常収益は、前年同期比204億5千3百万円減少し、1,929億2千5百万円となりました。これは、利回り低下による貸出金利息の減少や有価証券売却益の減少等によるものであります。連結経常費用は、前年同期比351億4千7百万円減少し、1,675億1千9百万円となりました。これは、利回り低下による預金利息の減少や有価証券損失が減少したことによるものであります。

この結果、連結経常利益は、前年同期比146億9千5百万円増加し、254億6百万円、連結四半期純利益は、連結子会社を清算する方針としたことに伴う繰延税金資産計上もあり、同285億9千7百万円増加し、295億4千8百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 預金・譲渡性預金

預金・譲渡性預金の期末残高は、個人預金が堅調に推移しました結果、前年度末比1,447億円増加し10兆3,552億円となりました。

(2) 貸出金

貸出金の期末残高は、住宅ローンを中心とした個人貸出金が堅調に推移しました結果、前年度末比417億円増加し8兆1,689億円となりました。

(3) 有価証券

有価証券の期末残高は、安全性と収益性の両面に留意して投資の多様化を図りました結果、前年度末比153億円増加し2兆3,104億円となりました。

(4) 資産運用商品

3行合算の個人預かり資産運用商品の期末残高は、投資信託および個人年金残高の増加を主因に、前年度末比1,657億円増加し1兆4,332億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

【簡便な会計処理】

1. 減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算出しております。

2. 貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、中間連結会計期間末の予想損失率等を適用して計上しております。

3. 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について中間連結会計期間末から大幅な変動がないと認められるため、当該中間連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

税金費用の処理

当社及び連結子会社の税金費用は、当第3四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。なお、連結損益計算書上における法人税等調整額等は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	456,946	532,240
コールローン及び買入手形	5,986	153,282
買入金銭債権	120,185	144,459
特定取引資産	4,169	1,770
有価証券	2,310,417	2,295,083
貸出金	8,168,989	8,127,246
外国為替	8,693	6,572
その他資産	180,332	122,569
有形固定資産	190,894	189,089
無形固定資産	180,192	185,233
繰延税金資産	109,625	116,950
支払承諾見返	74,840	77,391
貸倒引当金	△155,322	△170,509
投資損失引当金	△123	△123
資産の部合計	11,655,826	11,781,256
負債の部		
預金	10,029,009	9,932,583
譲渡性預金	326,265	277,900
コールマネー及び売渡手形	3,656	70,000
債券貸借取引受入担保金	33,885	6,563
特定取引負債	0	—
借入金	190,728	483,826
外国為替	224	800
短期社債	25,000	35,000
社債	186,326	154,916
その他負債	110,156	114,030
退職給付引当金	525	488
利息返還損失引当金	1,101	1,128
睡眠預金払戻損失引当金	3,095	3,766
その他の偶発損失引当金	672	374
再評価に係る繰延税金負債	32,254	32,270
負ののれん	283	273
支払承諾	74,840	77,391
負債の部合計	11,018,027	11,191,315

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
資本金	124,799	124,799
資本剰余金	104,263	104,263
利益剰余金	264,025	241,430
自己株式	△2,517	△2,503
株主資本合計	490,571	467,989
その他有価証券評価差額金	29,711	5,090
繰延ヘッジ損益	△5,316	△6,269
土地再評価差額金	46,460	46,717
評価・換算差額等合計	70,855	45,537
少数株主持分	76,373	76,413
純資産の部合計	637,799	589,941
負債及び純資産の部合計	11,655,826	11,781,256

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
経常収益	213,378	192,925
資金運用収益	162,107	148,090
(うち貸出金利息)	129,818	122,658
(うち有価証券利息配当金)	27,180	22,584
役務取引等収益	32,680	31,153
特定取引収益	205	220
その他業務収益	8,864	10,975
その他経常収益	9,522	2,485
経常費用	202,666	167,519
資金調達費用	36,116	24,657
(うち預金利息)	21,385	12,851
役務取引等費用	12,446	12,901
その他業務費用	19,172	901
営業経費	98,146	98,133
その他経常費用	36,785	30,925
経常利益	10,711	25,406
特別利益	2,254	4,170
固定資産処分益	717	276
償却債権取立益	1,536	3,894
特別損失	2,968	1,738
固定資産処分損	2,093	726
減損損失	404	436
その他の特別損失	471	574
税金等調整前四半期純利益	9,997	27,838
法人税等	7,650	△2,932
少数株主利益	1,395	1,222
四半期純利益	951	29,548

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【参考】平成22年3月期 第3四半期決算短信 (株式会社 福岡銀行)

平成22年2月5日

会社名 株式会社 福岡銀行

代表者 取締役頭取 谷 正 明

(URL <http://www.fukuokabank.co.jp/>)

問合せ先責任者 経営管理部長 横 田 浩 二

TEL (092) 723-2622

(百万円未満は切捨て)

本開示資料に記載する数値は、監査法人によるレビューの対象外となります。

1. 平成22年3月期第3四半期の個別業績 (平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	137,515	△7.8	25,093	54.3	32,247	317.3
21年3月期第3四半期	149,146	△4.1	16,268	△20.9	7,727	△32.9

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)
	百万円	百万円	%
22年3月期第3四半期	8,391,115	433,543	5.1
21年3月期	8,564,256	559,649	6.5

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 433,543百万円 21年3月期 559,649百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	316,336	364,392
コールローン	5,986	156,882
債券貸借取引支払保証金	—	10,101
買入金銭債権	112,565	133,339
特定取引資産	3,986	1,656
有価証券	1,415,094	1,425,858
貸出金	6,236,650	6,211,567
外国為替	7,020	3,941
その他資産	112,987	94,033
有形固定資産	142,379	141,446
無形固定資産	7,220	7,630
繰延税金資産	81,894	84,262
支払承諾見返	52,304	54,740
貸倒引当金	△ 103,310	△ 119,776
投資損失引当金	—	△ 5,819
資産の部合計	8,391,115	8,564,256
負債の部		
預金	7,154,119	7,025,047
譲渡性預金	245,952	248,772
コールマネー	26,138	83,575
債券貸借取引受入担保金	33,885	6,563
特定取引負債	0	—
借入金	231,381	374,932
外国為替	221	781
社債	104,326	100,416
その他負債	72,866	73,217
利息返還損失引当金	1,043	1,069
睡眠預金払戻損失引当金	2,405	2,845
その他の偶発損失引当金	672	372
再評価に係る繰延税金負債	32,254	32,270
支払承諾	52,304	54,740
負債の部合計	7,957,572	8,004,607
純資産の部		
資本金	82,329	82,329
資本剰余金	60,480	60,480
利益剰余金	227,237	369,455
株主資本合計	370,048	512,266
その他有価証券評価差額金	22,351	6,935
繰延ヘッジ損益	△ 5,316	△ 6,269
土地再評価差額金	46,460	46,717
評価・換算差額等合計	63,494	47,382
純資産の部合計	433,543	559,649
負債及び純資産の部合計	8,391,115	8,564,256

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

株式会社 福岡銀行
(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
経常収益	149,146	137,515
資金運用収益	113,730	106,443
(うち貸出金利息)	88,182	88,060
(うち有価証券利息配当金)	20,545	15,786
役務取引等収益	23,310	22,227
特定取引収益	175	186
その他業務収益	4,254	6,836
その他経常収益	7,676	1,821
経常費用	132,878	112,421
資金調達費用	29,126	20,196
(うち預金利息)	14,031	8,354
役務取引等費用	10,669	11,424
その他業務費用	10,908	609
営業経費	56,241	57,762
その他経常費用	25,931	22,428
経常利益	16,268	25,093
特別利益	134	3,553
固定資産処分益	134	1
償却債権取立益	—	3,552
特別損失	1,085	805
固定資産処分損	1,068	490
減損損失	16	315
税引前四半期純利益	15,318	27,841
法人税等	7,590	△ 4,406
四半期純利益	7,727	32,247

(注) 法人税等調整額等は、法人税等を含めて表示しております。

【参考】平成22年3月期 第3四半期決算短信 (株式会社 熊本ファミリー銀行)

平成22年2月5日

会 社 名 株式会社 熊本ファミリー銀行

代 表 者 取締役頭取 鈴木 元 (URL <http://www.kf-bank.co.jp/>)

問合せ先責任者 執行役員総合管理部長 村山 典隆 TEL (096) 385-1116

(百万円未満切捨て)

本開示資料に記載する数値は、監査法人によるレビューの対象外となります。

1. 平成22年3月期第3四半期の個別業績 (平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	21,876	△16.4	1,796	170.9	1,787	274.6
21年3月期第3四半期	26,178	△1.6	663	—	477	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)
	百万円	百万円	%
22年3月期第3四半期	1,184,434	56,025	4.7
21年3月期	1,178,755	52,161	4.4

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 56,025百万円 21年3月期 52,161百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	28,788	22,469
コールローン	13,067	11,236
買入金銭債権	26	48
有価証券	226,512	221,396
貸出金	857,838	863,755
外国為替	492	503
その他資産	15,069	13,577
有形固定資産	19,737	19,644
無形固定資産	5,454	6,579
繰延税金資産	18,035	18,529
支払承諾見返	8,991	9,894
貸倒引当金	△ 9,579	△ 8,881
資産の部合計	1,184,434	1,178,755
負債の部		
預金	1,089,559	1,078,219
譲渡性預金	9,673	1,500
コールマネー	—	3,600
債券貸借取引受入担保金	—	10,101
外国為替	3	4
社債	10,000	10,000
その他負債	7,836	10,618
睡眠預金払戻損失引当金	298	440
その他の偶発損失引当金	—	153
再評価に係る繰延税金負債	2,047	2,061
支払承諾	8,991	9,894
負債の部合計	1,128,408	1,126,593
純資産の部		
資本金	26,347	47,802
資本剰余金	26,347	47,802
利益剰余金	1,808	△ 42,909
株主資本合計	54,503	52,694
その他有価証券評価差額金	787	△ 1,289
土地再評価差額金	734	756
評価・換算差額等合計	1,522	△ 532
純資産の部合計	56,025	52,161
負債及び純資産の部合計	1,184,434	1,178,755

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
経常収益	26,178	21,876
資金運用収益	21,347	18,284
(うち貸出金利息)	18,364	16,129
(うち有価証券利息配当金)	2,666	1,886
役務取引等収益	3,301	2,977
その他業務収益	589	189
その他経常収益	939	424
経常費用	25,515	20,079
資金調達費用	4,310	2,224
(うち預金利息)	2,905	1,924
役務取引等費用	1,766	1,760
その他業務費用	1,248	14
営業経費	12,795	13,528
その他経常費用	5,394	2,551
経常利益	663	1,796
特別利益	134	175
固定資産処分益	28	3
償却債権取立益	105	155
その他の特別利益	—	15
特別損失	341	185
固定資産処分損	67	180
減損損失	99	—
その他の特別損失	174	4
税引前四半期純利益	455	1,786
法人税等	△ 21	△ 0
四半期純利益	477	1,787

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【参考】平成22年3月期 第3四半期決算短信 (株式会社 親和銀行)

平成22年2月5日

会社名 株式会社 親和銀行

代表者 取締役頭取 鬼木 和夫 (URL <http://www.shinwabank.co.jp/>)

問合せ先責任者 執行役員総合管理部長 小川 正信 TEL (0956) 23-3579

(百万円未満切捨て)

本開示資料に記載する数値は、監査法人によるレビューの対象外となります。

1. 平成22年3月期第3四半期の個別業績 (平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	32,530	△14.6	5,384	—	5,107	—
21年3月期第3四半期	38,074	△8.4	△7,617	—	△1,181	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)
	百万円	百万円	%
22年3月期第3四半期	2,045,433	94,305	4.6
21年3月期	2,038,056	82,756	4.0

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 94,305百万円 21年3月期 82,756百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金預け金	114,178	147,724
コールローン	9,414	2,339
買入金銭債権	—	0
商品有価証券	183	114
有価証券	673,682	660,342
貸出金	1,183,658	1,167,049
外国為替	1,179	2,127
その他資産	14,093	10,925
有形固定資産	46,956	46,170
無形固定資産	5,868	2,520
繰延税金資産	13,162	17,243
支払承諾見返	13,475	12,180
貸倒引当金	△ 30,420	△ 30,681
資産の部合計	2,045,433	2,038,056
負債の部		
預金	1,805,596	1,852,506
譲渡性預金	88,939	44,927
借入金	10,496	10,043
外国為替	—	14
社債	12,500	15,000
その他負債	8,534	8,742
睡眠預金払戻損失引当金	391	480
再評価に係る繰延税金負債	11,193	11,404
支払承諾	13,475	12,180
負債の部合計	1,951,127	1,955,300
純資産の部		
資本金	33,128	80,831
資本剰余金	33,128	80,831
利益剰余金	5,405	△ 95,407
株主資本合計	71,662	66,256
その他有価証券評価差額金	7,477	1,043
土地再評価差額金	15,166	15,456
評価・換算差額等合計	22,643	16,499
純資産の部合計	94,305	82,756
負債及び純資産の部合計	2,045,433	2,038,056

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

株式会社 親和銀行
(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
経常収益	38,074	32,530
資金運用収益	29,285	24,489
(うち貸出金利息)	23,950	19,089
(うち有価証券利息配当金)	4,305	5,088
役務取引等収益	5,979	5,893
その他業務収益	338	496
その他経常収益	2,470	1,651
経常費用	45,691	27,145
資金調達費用	5,787	3,384
(うち預金利息)	4,477	2,587
役務取引等費用	2,453	2,377
その他業務費用	6,533	222
営業経費	20,178	18,013
その他経常費用	10,737	3,147
経常利益又は経常損失(△)	△ 7,617	5,384
特別利益	6,771	395
固定資産処分益	604	222
償却債権取立益	1,311	173
貸倒引当金戻入益	4,795	—
その他の特別利益	59	—
特別損失	1,315	801
固定資産処分損	929	63
減損損失	385	102
その他の特別損失	—	635
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△ 2,160	4,978
法人税等	△ 978	△ 128
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 1,181	5,107

(注) 法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

平成21年度第3四半期 決算説明資料

～目次～

ページ

1 損益の状況		
・ FFG連結	・・・・・・・・・・	1
・ 福岡銀行単体	・・・・・・・・・・	2
・ 熊本ファミリー銀行単体	・・・・・・・・・・	3
・ 親和銀行単体	・・・・・・・・・・	4
2 資産・負債等の状況		
(1) 貸出金の状況	・・・・・・・・・・	5
(2) 預金の状況	・・・・・・・・・・	6
(3) 資産運用商品の状況	・・・・・・・・・・	7
(4) 時価のあるその他有価証券の評価差額金	・・・・・・・・・・	8
3 金融再生法開示債権の状況	・・・・・・・・・・	9

～補足説明～

- 本説明資料では、各計数の定義を次のとおりとしております。
 - 【FFG連結】 :ふくおかフィナンシャルグループ連結の計数
 - 【3行合算】 :福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行の単体計数を単純合算した計数
 - 【3行合算+分割子会社】 :【3行合算】と親和コーポレート・パートナーズを単純合算した計数
 - 【福岡銀行連結】 :福岡銀行グループ連結の計数
 - 【熊本ファミリー銀行連結】 :熊本ファミリー銀行グループ連結の計数
 - 【親和銀行連結】 :親和銀行グループ連結の計数
 - 【福岡銀行単体】 :福岡銀行単体の計数
 - 【福岡銀行単体+分割子会社】 :【福岡銀行単体】と親和コーポレートパートナーズを単純合算した計数
 - 【熊本ファミリー銀行単体】 :熊本ファミリー銀行単体の計数
 - 【親和銀行単体】 :親和銀行単体の計数
- 平成21年12月末の自己資本比率につきましては、現在算定中であり、確定次第別途開示いたします。

あなたのいちばんに。

ご参考

3行合算

(単位：百万円)

	平成21年度 第3四半期 (9ヶ月)	平成20年度 第3四半期 (9ヶ月)	前年同期比	(参考) 平成21年3月期	平成21年度 第3四半期	
					(9ヶ月)	前年同期比
業務粗利益	151,979	136,121	15,858	182,559	145,810	16,303
資金利益	123,432	125,990	△2,558	167,495	123,412	△1,725
役務取引等利益	18,252	20,234	△1,982	25,840	15,536	△2,165
特定取引利益	220	205	15	266	186	11
その他業務利益	10,074	△10,308	20,382	△11,043	6,674	20,181
うち国債等債券損益	3,208	△14,166	17,374	△17,272	3,163	17,453
経費(除く臨時処理分)	94,418	96,483	△2,065	130,064	85,280	△2,015
① 一般貸倒引当金繰入額	10,761	△11,307	22,068	△20,500	10,006	21,732
業務純益	46,800	50,945	△4,145	72,995	50,523	△3,415
コア業務純益	54,353	53,804	549	69,767	57,367	865
臨時損益等	△21,393	△40,233	18,840	△69,900	△18,248	21,551
② 不良債権処理額	12,221	39,637	△27,416	72,588	9,926	△27,409
(信用コスト①+②-③)	(19,088)	(26,793)	(△7,705)	(50,020)	(16,051)	(△8,140)
株式等関係損益	△4,753	2,998	△7,751	7,071	△3,816	△5,062
その他臨時損益等	△4,418	△3,594	△824	△4,383	△4,504	△794
経常利益 【33,700】	25,406	10,711	14,695	3,095	32,275	18,136
特別損益	2,432	△714	3,146	△9,040	2,330	2,856
③ うち償却債権取立益	3,894	1,536	2,358	2,067	3,881	2,464
税引前四半期(当期)純利益	27,838	9,997	17,841	△5,944	34,606	20,994
法人税等	△2,932	7,650	△10,582	△30,894	△4,535	△11,125
うち繰延税金資産計上に伴う法人税等の減少	△16,021	—	△16,021	△41,683	△16,021	△16,021
少数株主利益	1,222	1,395	△173	3,015	—	—
四半期(当期)純利益 【28,000】	29,548	951	28,597	21,934	39,142	32,120

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益(54,353百万円)

= 業務純益(46,800百万円) + 一般貸倒引当金繰入額(10,761百万円) - 国債等債券損益(3,208百万円)

(注3) 【 】は、平成21年5月15日に公表した平成21年度通期の業績予想。

業績サマリー

コア業務純益 544億円

- コア業務純益は、資金利益・役務取引等利益の減少をその他業務利益(国債等債券損益を除く)の増加および経費の削減によりカバーした結果、前年同期比+5億円増加し、544億円となりました。

経常利益 254億円

年度計画進捗率 75.4%

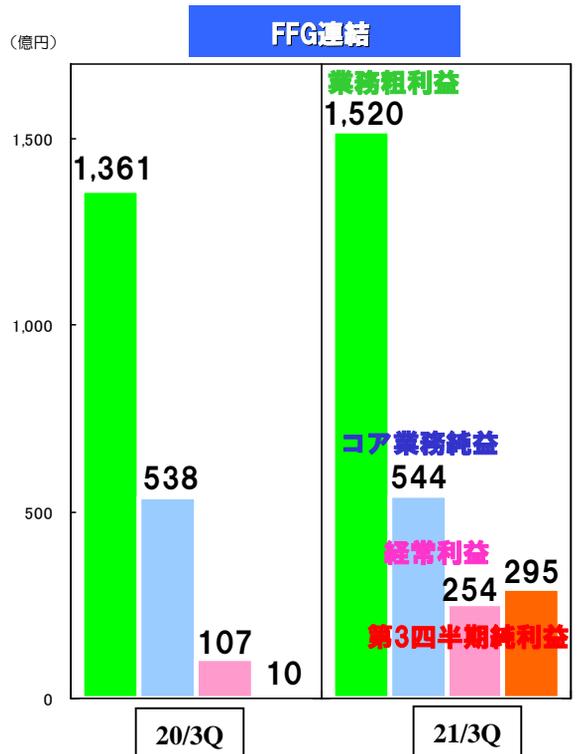
- 経常利益は、有価証券(株式・債券)関係損益の増加および信用コスト減少(償却債権取立益を除く)により、前年同期比+147億円増加し、254億円となりました。

四半期純利益 295億円

年度計画進捗率 105.5%

- 四半期純利益は、福岡銀行の子会社である親和コーポレート・パートナーズを清算する方針としたことに伴う繰延税金資産160億円の計上等により、295億円となりました。

損益の推移



福岡銀行単体

(単位: 百万円)

	平成21年度 第3四半期 (9ヶ月)	平成20年度 第3四半期 (9ヶ月)	前年同期比	(参考) 平成21年3月期
業務粗利益	103,463	90,765	12,698	120,916
資金利益	86,247	84,603	1,644	113,988
国内部門	81,751	80,394	1,357	108,381
国際部門	4,495	4,208	287	5,606
役務取引等利益	10,803	12,640	△1,837	16,185
特定取引利益	186	175	11	220
その他業務利益	6,226	△ 6,654	12,880	△ 9,477
うち国債等債券損益	3,027	△ 8,586	11,613	△ 11,826
うち外為売買損益	1,110	1,371	△ 261	1,625
経費 (除く臨時処理分)	55,035	55,194	△159	74,116
① 一般貸倒引当金繰入額	10,751	5,574	5,177	560
業務純益	【59,600】	37,676	7,680	46,238
コア業務純益	【60,000】	45,400	1,243	58,625
臨時損益等	△12,582	△13,727	1,145	△29,302
② 不良債権処理額	5,723	15,197	△9,474	36,156
(信用コスト①+②-③) 【20,000】	(12,923)	(20,771)	(△7,848)	(36,282)
株式等関係損益	△3,903	3,058	△6,961	7,740
その他臨時損益等	△2,955	△1,589	△1,366	△886
経常利益	【34,700】	25,093	8,825	16,935
特別損益	2,747	△950	3,697	△5,564
③ うち償却債権取立益	3,552	—	3,552	434
税引前四半期 (当期) 純利益	27,841	15,318	12,523	11,371
法人税等	△4,406	7,590	△11,996	△15,070
うち繰延税金資産計上に伴う法人税等の減少	△16,021	—	△16,021	△25,566
四半期 (当期) 純利益	【35,500】	32,247	7,727	26,442

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益 (45,400百万円)

= 業務純益 (37,676百万円) + 一般貸倒引当金繰入額 (10,751百万円) - 国債等債券損益 (3,027 百万円)

(注3) 【 】は、平成21年5月15日に公表した平成21年度通期の業績予想。

■業績サマリー

コア業務純益 454 億円

年度計画進捗率 75.7%

- コア業務純益は、役務取引等利益が減少したものの、資金利益およびその他業務利益 (国債等債券損益を除く) が増加したことにより前年同期比+12億円増加し、454億円となりました。

経常利益 251 億円

年度計画進捗率 72.3%

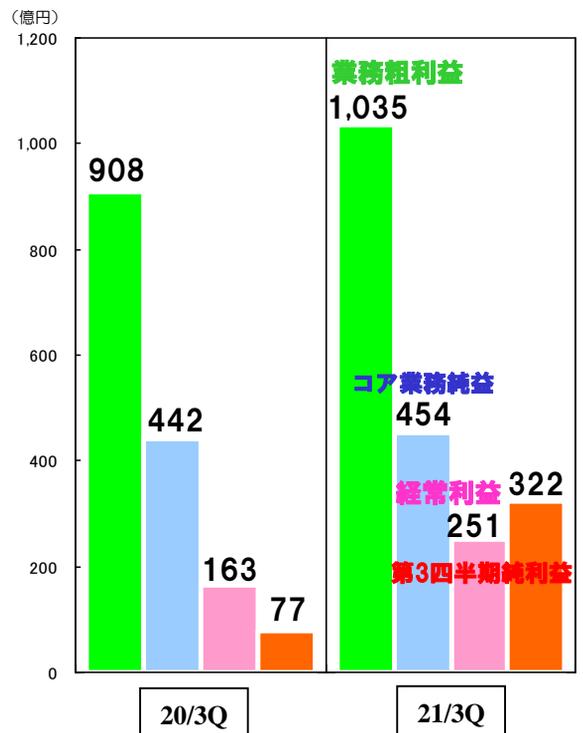
- 経常利益は、有価証券 (株式・債券) 関係損益の増加および信用コスト (償却債権取立益を除く) が減少したことにより前年同期比+88億円増加し、251億円となりました。

四半期純利益 322 億円

年度計画進捗率 90.8%

- 四半期純利益は、子会社の親和コーポレート・パートナーズを清算する方針としたことに伴う繰延税金資産160億円の計上等により、322億円となりました。

■ 損益の推移



熊本ファミリー銀行単体

(単位：百万円)

	平成21年度 第3四半期(9ヶ月)	平成20年度 第3四半期(9ヶ月)	前年同期比	(参考) 平成21年3月期
業務粗利益	17,452	17,913	△461	23,616
資金利益	16,060	17,036	△976	22,362
国内部門	15,973	16,966	△993	22,278
国際部門	86	69	17	84
役務取引等利益	1,217	1,535	△318	1,869
その他業務利益	174	△658	832	△616
うち国債等債券損益	△4	220	△224	213
うち外為売買損益	179	272	△93	320
経費(除く臨時処理分)	12,724	12,200	524	17,399
① 一般貸倒引当金繰入額	72	△1,504	1,576	△1,369
業務純益	【6,100】 4,655	7,217	△2,562	7,585
コア業務純益	【6,100】 4,732	5,492	△760	6,002
臨時損益等	△2,858	△6,553	3,695	△8,079
② 不良債権処理額	1,522	4,509	△2,987	5,074
(信用コスト①+②-③) 【2,000】	(1,439)	(2,898)	(△1,459)	(3,588)
株式等関係損益	△297	△1,230	933	△1,767
その他臨時損益等	△1,038	△814	△224	△1,237
経常利益	【2,600】 1,796	663	1,133	△493
特別損益	△10	△207	197	△2,724
③ うち償却債権取立益	155	105	50	115
税引前四半期(当期)純利益	1,786	455	1,331	△3,217
法人税等	△0	△21	21	△3,964
うち繰延税金資産計上に伴う法人税等の減少	—	—	—	△3,981
四半期(当期)純利益	【2,500】 1,787	477	1,310	746

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益(4,732百万円)

= 業務純益(4,655百万円) + 一般貸倒引当金繰入額(72百万円) - 国債等債券損益(△4百万円)

(注3) 【 】は、平成21年5月15日に公表した平成21年度通期の業績予想。

■業績サマリー

コア業務純益 47億円

年度計画進捗率 77.6%

➢ コア業務純益は、資金利益減少を主因に前年同期比▲8億円の47億円となりました。

経常利益 18億円

年度計画進捗率 69.1%

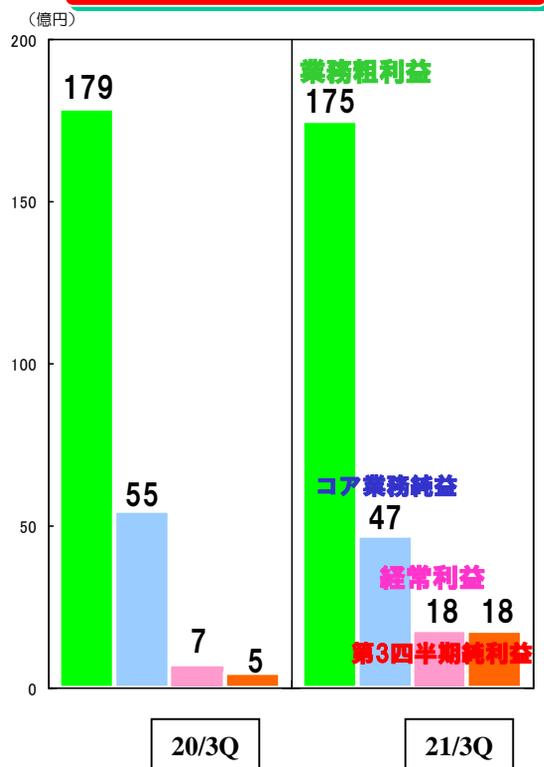
➢ 経常利益は、信用コストが減少したことにより前年同期比+11億円の18億円となりました。

四半期純利益 18億円

年度計画進捗率 71.5%

➢ 四半期純利益は、上記要因等により前年同期比+13億円の18億円となりました。

■ 損益の推移



親和銀行単体

(単位：百万円)

	平成21年度 第3四半期 (9ヶ月) (a)	平成20年度第3四半期 (調整後) (b)		前年同期比 (a) - (b)		(参考) 平成21年3月期
		PL計上額 (c)		(a) - (b)		
業務粗利益	24,894	20,828	20,828	4,066	4,066	28,460
資金利益	21,105	23,497	23,497	△2,392	△2,392	30,492
国内部門	20,765	23,283	23,283	△2,518	△2,518	30,094
国際部門	339	214	214	125	125	398
役務取引等利益	3,515	3,525	3,525	△10	△10	4,626
その他業務利益	273	△6,194	△6,194	6,467	6,467	△6,658
うち国債等債券損益	139	△5,923	△5,923	6,062	6,062	△6,434
うち外為売買損益	154	147	147	7	7	192
経費 (除く臨時処理分)	17,520	19,900	19,900	△2,380	△2,380	26,146
① 一般貸倒引当金繰入額	△817	△15,796	-	14,979	△817	△20,921
業務純益	【8,000】 8,191	16,724	928	△8,533	7,263	23,236
コア業務純益	【8,000】 7,234	6,852	6,852	382	382	8,749
臨時損益等	△2,806	△19,517	△8,545	16,711	5,739	△35,856
② 不良債権処理額	2,679	17,628	6,656	△14,949	△3,977	28,189
(信用コスト①+②-③-④) 【2,000】	(1,689)	(520)	(520)	(1,169)	(1,169)	(5,856)
株式等関係損益	384	△581	△581	965	965	△5,431
その他臨時損益等	△510	△1,307	△1,307	797	797	△2,235
経常利益	【4,800】 5,384	△2,792	△7,617	8,176	13,001	△12,620
特別損益	△406	631	5,456	△1,037	△5,862	△2,166
③ うち貸倒引当金等純取崩益	-	-	4,824	-	△4,824	31
④ うち償却債権取立益	173	1,311	1,311	△1,138	△1,138	1,379
税引前四半期 (当期) 純利益	4,978	△2,160	△2,160	7,138	7,138	△14,787
法人税等	△128	△978	△978	850	850	△13,844
うち繰延税金資産計上に伴う法人税等の減少	-	-	-	-	-	△12,136
四半期 (当期) 純利益	【2,000】 5,107	△1,181	△1,181	6,288	6,288	△943

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益 (7,234百万円)

= 業務純益 (8,191百万円) + 一般貸倒引当金繰入額 (△817百万円) - 国債等債券損益 139百万円)

(注3) 【 】は、平成21年5月15日に公表した平成21年度通期の業績予想。

(注4) 20年度第3四半期は一般貸倒引当金、個別貸倒引当金等の取崩額が繰入額を上回っているため、相殺後の取崩額を特別損益の「貸倒引当金等純取崩益」に計上しておりますが、前年同期及び3行合算での比較のため、「調整後」欄にて当第3四半期と同様の勘定科目で行った場合の表示を記載し、前年同期比較を行っております。

■業績サマリー

コア業務純益 72億円

年度計画進捗率 90.4%

➢ コア業務純益は、資金利益の減少を経費削減やその他業務利益 (国債等関係損益を除く) 等の増加によりカバーし、前年同期比+4億円の72億円となりました。

経常利益 54億円

年度計画進捗率 112.2%

➢ 経常利益は、有価証券関係損益の増加を主因に前年同期 (20年度第3四半期 (調整後)) 比+82億円の54億円となりました。

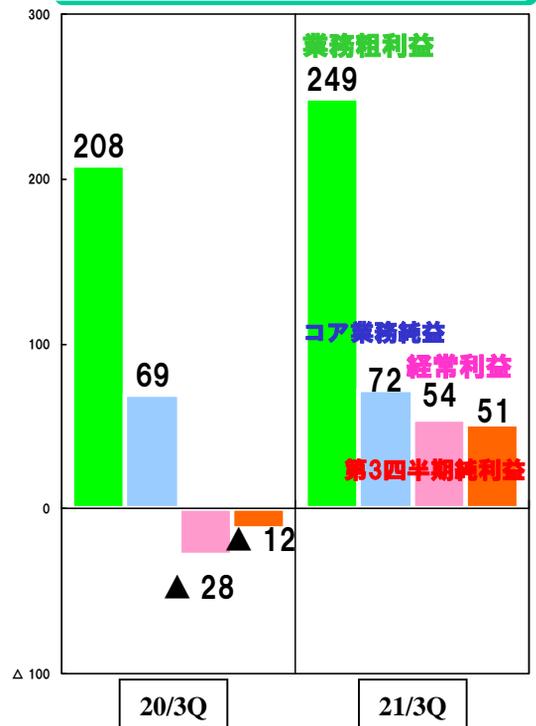
四半期純利益 51億円

年度計画進捗率 255.4%

➢ 四半期純利益は、上記要因等により前年同期比+63億円の51億円となりました。

■ 損益の推移

(億円)

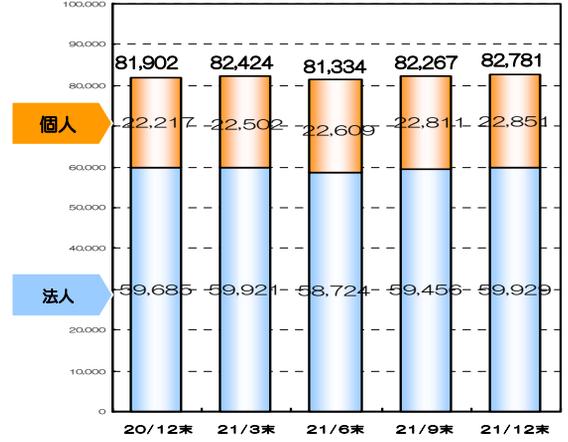


2. 資産・負債等の状況

(1) 貸出金の状況

■ 貸出金末残 (銀行別)

■ 貸出金末残 (セグメント別)



福岡銀行単体

- 総貸出金は、21/9末比+391億円増加し、62,366億円（前年同期比+2,786億円、年率+4.7%）となりました。
- 部門別では、個人部門が21/9末比+19億円（前年同期比+643億円、年率+4.1%）、法人部門は同+371億円（同+2,142億円、年率+4.9%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総貸出金は、21/9末比+69億円増加し、8,578億円（前年同期比▲752億円、年率▲8.1%）となりました。
- 部門別では、個人部門が21/9末比+9億円（前年同期比▲168億円、年率▲5.5%）、法人部門は同+59億円（同▲583億円、年率▲9.3%）となりました。

親和銀行単体

- 総貸出金は、21/9末比+54億円増加し、11,836億円（前年同期比▲1,154億円、年率▲8.9%）となりました。
- 部門別では、個人部門が21/9末比+12億円（前年同期比+160億円、年率+4.7%）、法人部門は同+42億円（同▲1,314億円、年率▲13.7%）となりました。

(単位: 百万円)

3行合算	21年12月末 (年率: %)				
			21/9末比	21/3末比	20/12末比
総貸出金	(1.1%)	8,278,146	51,461	35,775	87,948
個人部門	(2.9%)	2,285,199	4,107	34,961	63,523
法人部門	(0.4%)	5,992,946	47,354	812	24,424
ローン残高	(4.7%)	2,158,692	9,771	43,727	96,426
うち住宅ローン	(5.8%)	2,000,586	16,222	60,423	110,122
中小企業等貸出金比率	-	70.48%	0.26%	△ 0.84%	△ 2.25%
福岡銀行単体					
総貸出金	(4.7%)	6,236,650	39,107	25,083	278,630
個人部門	(4.1%)	1,642,438	1,953	21,631	64,399
法人部門	(4.9%)	4,594,211	37,154	3,450	214,230
福岡県内貸出金	(4.9%)	4,958,652	29,247	58,131	230,073
ローン残高	(4.3%)	1,619,657	4,301	24,094	66,720
うち住宅ローン	(5.1%)	1,507,327	9,140	35,820	73,684
中小企業等貸出金比率	-	67.74%	0.21%	△ 0.80%	△ 1.41%
熊本ファミリー銀行単体					
総貸出金	(△ 8.1%)	857,838	6,937	△ 5,917	△ 75,261
個人部門	(△ 5.5%)	288,001	954	3,898	△ 16,887
法人部門	(△ 9.3%)	569,837	5,983	△ 9,815	△ 58,374
熊本県内貸出金	(△ 5.4%)	775,278	7,311	868	△ 44,370
ローン残高	(3.0%)	251,409	2,522	5,112	7,315
うち住宅ローン	(4.6%)	235,285	3,207	7,230	10,357
中小企業等貸出金比率	-	88.52%	0.12%	△ 0.09%	△ 1.01%
親和銀行単体					
総貸出金	(△ 8.9%)	1,183,658	5,417	16,609	△ 115,421
個人部門	(4.7%)	354,760	1,200	9,432	16,011
法人部門	(△ 13.7%)	828,898	4,217	7,177	△ 131,432
長崎県内貸出金	(△ 7.6%)	799,859	10,259	△ 6,666	△ 65,592
ローン残高	(8.4%)	287,626	2,948	14,521	22,391
うち住宅ローン	(11.2%)	257,974	3,875	17,373	26,081
中小企業等貸出金比率	-	71.89%	0.65%	△ 1.42%	△ 5.22%

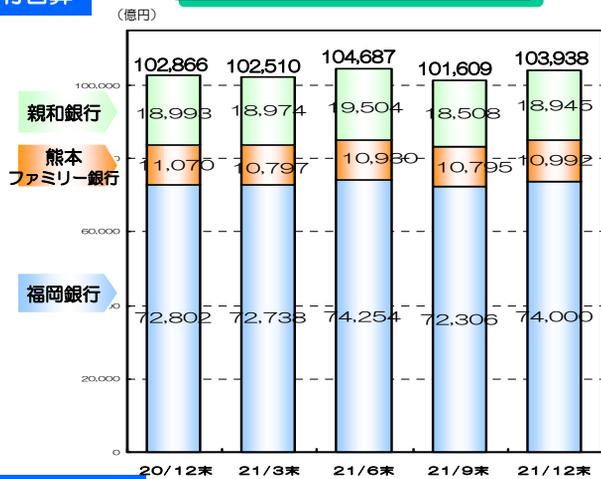
(注) 貸出金には、福岡銀行のFFG向け貸出金(20年12月末 700億円、21年3月末 1,050億円、21年9月末 1,070億円、21年12月末 1,040億円)及び熊本ファミリー銀行向け貸出金(20年12月末 100億円)を含んでおります。

(2) 預金の状況

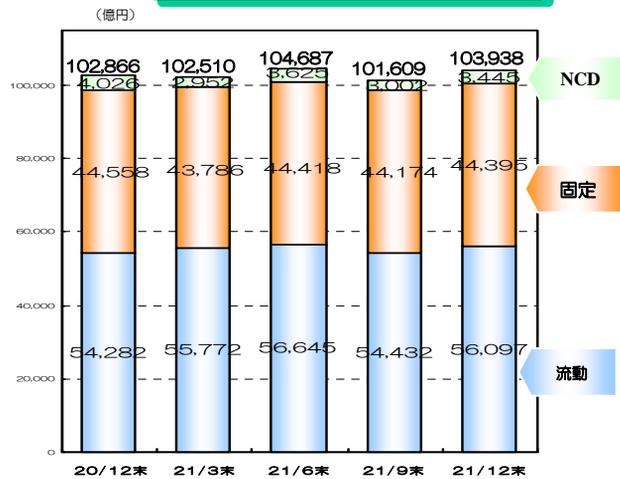
徳ふくおかフィナンシャルグループ (8354) 平成22年3月期 第3四半期決算説明資料

3行合算

■ 預金・NCD未残 (銀行別)



■ 預金・NCD未残 (セグメント別)



福岡銀行単体

- 総資金は、21/9末比+1,694億円増加し、74,000億円（前年同期比+1,198億円、年率+1.6%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、21/9末比+1,288億円（前年同期比+1,643億円、年率+3.2%）、法人預金は同+366億円（同+544億円、年率+2.9%）となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 総資金は、21/9末比+196億円増加し、10,992億円（前年同期比▲78億円、年率▲0.7%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、21/9末比+89億円（前年同期比▲67億円、年率▲0.8%）、法人預金は同+41億円（同▲107億円、年率▲4.3%）となりました。

親和銀行単体

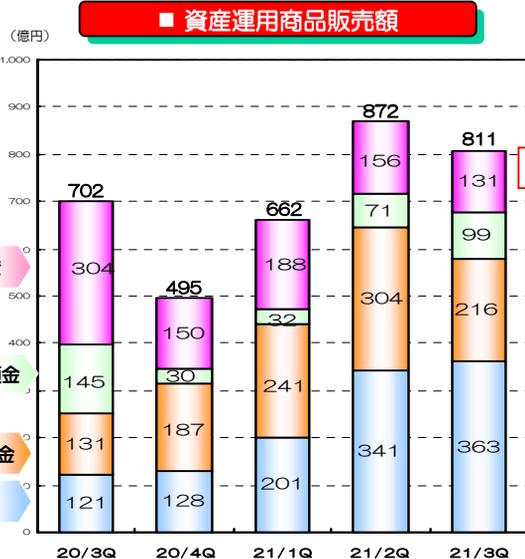
- 総資金は、21/9末比+437億円増加し、18,945億円（前年同期比▲47億円、年率▲0.3%）となりました。
- 部門別では、個人預金は、21/9末比+30億円（前年同期比▲420億円、年率▲3.1%）、法人預金は同+70億円（同+60億円、年率+1.2%）となりました。

(単位: 百万円)

	21年12月末					
	(年率:%)		21/9末比	21/3末比	20/12末比	
3行合算	個人預金	(1.6%)	7,381,383	140,843	194,872	115,586
	法人預金	(1.9%)	2,667,890	47,745	△ 101,370	49,734
	合計	(1.7%)	10,049,274	188,587	93,502	165,321
	流動性	(3.3%)	5,609,768	166,521	32,566	181,569
	固定性	(△ 0.4%)	4,439,504	22,066	60,935	△ 16,249
	総資金(預金+NCD)	(1.0%)	10,393,838	232,908	142,865	107,266
福岡銀行単体	個人預金	(3.2%)	5,235,697	128,812	209,655	164,375
	法人預金	(2.9%)	1,918,421	36,604	△ 80,583	54,439
	合計	(3.2%)	7,154,119	165,416	129,072	218,815
	流動性	(3.3%)	4,272,285	120,986	14,149	136,690
	固定性	(2.9%)	2,881,833	44,430	114,922	82,124
	総資金(預金+NCD)	(1.6%)	7,400,071	169,496	126,251	119,850
	福岡県内預金	(3.2%)	6,732,124	153,576	189,004	209,010
熊本ファミリー銀行単体	個人預金	(△ 0.8%)	849,427	8,963	2,863	△ 6,720
	法人預金	(△ 4.3%)	240,132	4,136	8,477	△ 10,761
	合計	(△ 1.6%)	1,089,559	13,098	11,340	△ 17,481
	流動性	(△ 0.6%)	416,773	12,078	7,848	△ 2,697
	固定性	(△ 2.2%)	672,785	1,020	3,492	△ 14,784
	総資金(預金+NCD)	(△ 0.7%)	1,099,232	19,691	19,513	△ 7,808
	熊本県内預金	(△ 1.2%)	1,002,685	13,473	13,855	△ 11,949
親和銀行単体	個人預金	(△ 3.1%)	1,296,259	3,068	△ 17,646	△ 42,069
	法人預金	(1.2%)	509,337	7,005	△ 29,264	6,056
	合計	(△ 2.0%)	1,805,596	10,073	△ 46,910	△ 36,013
	流動性	(5.4%)	920,710	33,457	10,569	47,576
	固定性	(△ 8.6%)	884,886	△ 23,384	△ 57,479	△ 83,589
	総資金(預金+NCD)	(△ 0.3%)	1,894,535	43,721	△ 2,899	△ 4,776
	長崎県内預金	(△ 0.1%)	1,530,199	13,291	14,760	△ 1,191

(3) 資産運用商品の状況

3行合算



個人預かり資産残高 (セグメント別)



福岡銀行単体

- 資産運用商品販売額は、直近四半期 (21/2Q) 比▲68億円減少し、490億円 (前年同期比+16億円) となりました。
- 個人預かり資産 (投資信託、個人年金、外貨預金、公共債) の残高は、21/9末比+215億円増加し、10,338億円 (前年同期比+1,022億円、年率+11.0%) となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 資産運用商品販売額は、直近四半期 (21/2Q) 比+0.4億円増加し、124億円 (前年同期比+50億円) となりました。
- 個人預かり資産の残高は、21/9末比+73億円増加し、1,512億円 (前年同期比+289億円、年率+23.7%) となりました。

親和銀行単体

- 資産運用商品販売額は、直近四半期 (21/2Q) 比+7億円増加し、195億円 (前年同期比+42億円) となりました。
- 個人預かり資産の残高は、21/9末比+118億円増加し、2,481億円 (前年同期比+437億円、年率+21.4%) となりました。

(単位: 億円)

販売額

残高

	21年度第3四半期 (3ヶ月)						21年12月末			
	21年度第3四半期 (前年同期比: %)	21年度第2四半期比	20年度第3四半期比	21年度第2四半期	20年度第3四半期	(年率: %)	21/9末比	21/3末比	20/12末比	
3行合算										
投資信託	(199.4%)	363	22	242	341	121	3,961	199	826	829
個人年金保険	(65.5%)	216	△ 87	85	304	131	4,448	213	884	955
外貨預金	(△ 31.6%)	99	28	△ 45	71	145	617	61	49	85
公共債	(△ 56.7%)	131	△ 24	△ 172	156	304	5,304	△ 66	△ 102	△ 121
合計	(15.6%)	811	△ 60	109	872	702	14,332	407	1,657	1,749
個人預かり資産に対する割合							19.4%	0.2%	1.8%	2.1%
福岡銀行										
投資信託	(148.7%)	210	3	125	207	85	2,803	107	542	537
個人年金保険	(87.8%)	114	△ 72	53	187	61	2,768	125	582	568
外貨預金	(△ 48.6%)	46	12	△ 43	34	90	434	34	7	26
公共債	(△ 49.9%)	119	△ 12	△ 118	132	238	4,332	△ 51	△ 90	△ 109
合計	(3.6%)	490	△ 68	16	560	474	10,338	215	1,041	1,022
個人預かり資産に対する割合							19.7%	△ 0.1%	1.2%	1.3%
熊本ファミリー銀行										
投資信託	(601.6%)	66	0	57	66	10	424	39	119	124
個人年金保険	(41.3%)	32	△ 4	9	37	23	730	26	95	123
外貨預金	(△ 13.9%)	24	6	△ 3	18	28	102	8	5	18
公共債	(△ 90.6%)	1	△ 2	△ 12	4	14	254	△ 1	12	22
合計	(67.4%)	124	0	50	124	75	1,512	73	232	289
個人預かり資産に対する割合							17.8%	0.7%	2.7%	3.5%
親和銀行										
投資信託	(216.5%)	86	17	58	68	27	733	51	165	168
個人年金保険	(48.4%)	69	△ 10	22	80	47	949	61	205	263
外貨預金	(6.1%)	28	9	1	20	27	80	18	37	39
公共債	(△ 79.0%)	10	△ 8	△ 41	20	52	718	△ 14	△ 24	△ 33
合計	(27.4%)	195	7	42	188	154	2,481	118	383	437
個人預かり資産に対する割合							19.1%	0.8%	3.1%	3.8%

(4) 時価のあるその他有価証券の評価差額金

FFG連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、21/9末比▲243億円減少し、20,825億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、21/9末比+1億円増加し、485億円となりました。

福岡銀行連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、21/9末比▲196億円減少し、11,946億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、21/9末比▲15億円減少し、373億円となりました。

熊本ファミリー銀行連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、21/9末比▲37億円減少し、2,191億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、21/9末比+3億円増加し、12億円となりました。

親和銀行連結

- 時価のあるその他有価証券残高は、21/9末比▲11億円減少し、6,701億円となりました。
- 有価証券評価差額（含み損益）は、21/9末比+0.9億円増加し、121億円となりました。

(単位：百万円)

	21年12月末						21年9月末				
	時 価	21/9末比	評価差額	21/9末比	うち評価益	うち評価損	時 価	評価差額	うち評価益	うち評価損	
FFG連結	その他有価証券	2,082,588	△ 24,390	48,521	198	62,779	14,258	2,106,978	48,323	66,762	18,439
	株式	82,101	△ 15,075	14,764	△ 2,147	23,412	8,648	97,176	16,911	28,401	11,489
	債券	1,605,709	8,500	33,369	1,649	33,561	192	1,597,209	31,720	31,969	248
	国債	794,428	53,738	18,678	1,835	18,694	15	740,690	16,843	16,843	0
	地方債	34,671	124	761	89	768	6	34,547	672	680	7
	社債	776,610	△ 45,360	13,928	△ 276	14,099	170	821,970	14,204	14,445	241
	その他	394,776	△ 17,816	388	697	5,805	5,417	412,592	△ 309	6,391	6,700
福岡銀行連結	その他有価証券	1,194,686	△ 19,646	37,307	△ 1,513	47,454	10,146	1,214,332	38,820	51,860	13,040
	株式	72,228	△ 9,189	22,169	△ 2,834	27,103	4,934	81,417	25,003	31,740	6,736
	債券	752,895	6,665	14,455	910	14,617	161	746,230	13,545	13,772	226
	国債	320,119	63,900	7,019	2,264	7,023	3	256,219	4,755	4,755	—
	地方債	15,379	2,063	334	64	338	3	13,316	270	270	0
	社債	417,395	△ 59,300	7,101	△ 1,418	7,256	154	476,695	8,519	8,746	226
	その他	369,563	△ 17,121	682	411	5,733	5,051	386,684	271	6,348	6,077
熊本ファミリー銀行連結	その他有価証券	219,100	△ 3,700	1,282	322	4,169	2,887	222,800	960	3,838	2,877
	株式	5,263	△ 1,523	△ 2,791	△ 32	84	2,876	6,786	△ 2,759	101	2,860
	債券	213,774	△ 2,176	4,077	355	4,085	8	215,950	3,722	3,737	14
	国債	161,147	△ 5,655	2,934	184	2,938	3	166,802	2,750	2,750	0
	地方債	378	84	4	1	4	0	294	3	3	—
	社債	52,248	3,395	1,138	170	1,142	4	48,853	968	982	14
	その他	61	△ 2	△ 3	0	—	3	63	△ 3	—	3
親和銀行連結	その他有価証券	670,110	△ 1,170	12,116	90	13,447	1,330	671,280	12,026	13,804	1,777
	株式	5,414	△ 4,490	4	△ 750	919	914	9,904	754	1,922	1,168
	債券	639,544	4,013	12,088	583	12,136	47	635,531	11,505	11,554	48
	国債	313,161	△ 4,507	6,057	△ 420	6,065	8	317,668	6,477	6,477	—
	地方債	18,912	△ 2,025	338	30	365	27	20,937	308	357	48
	社債	307,470	10,545	5,693	974	5,704	11	296,925	4,719	4,719	—
	その他	25,151	△ 693	23	256	391	368	25,844	△ 233	327	560

3. 金融再生法開示債権の状況

3行合算+分割子会社

【部分直接償却後】

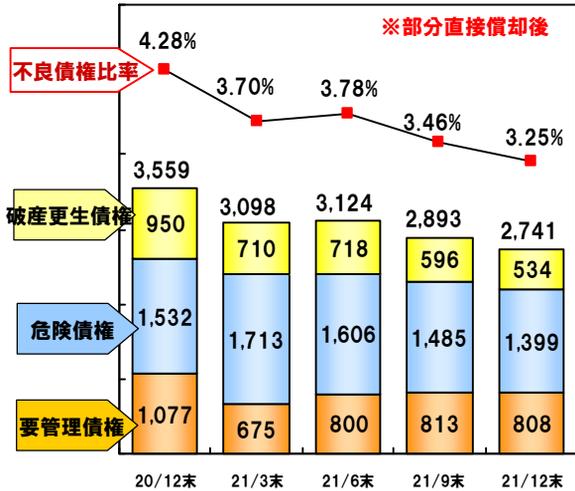
■ 開示債権残高 (各子銀行の部分直接償却後の残高を合算しております。)

	21年12月末	21/9末比	21/3末比	20/12末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	534	△ 62	△ 176	△ 416
危険債権	1,399	△ 86	△ 314	△ 133
要管理債権	808	△ 5	133	△ 269
①合計(金融再生法開示債権)	2,741	△ 152	△ 358	△ 818
正常債権	81,360	725	706	1,841
②総与信残高	84,100	573	349	1,023
総与信に占める金融再生法開示債権 ①/②	3.25%	△ 0.21%	△ 0.45%	△ 1.03%

■ 保全率【21年12月末】(各子銀行の部分直接償却後の計数を合算しております。)

	債権額	保全等カバー	引当金	担保・保証等	保全率
金融再生法開示債権	2,741	2,111	842	1,268	77.01%

■ 開示不良債権残高
3行合算+分割子会社



福岡銀行単体+分割子会社

- 金融再生法開示債権は、21年9月末比▲155億円減少し、2,208億円(前年同期比+812億円)となりました。
- 不良債権比率は、同▲0.28%低下し、3.48%(同+1.17%)となりました。

熊本ファミリー銀行単体

- 金融再生法開示債権は、21年9月末比+9億円増加し、148億円(前年同期比▲328億円)となりました。
- 不良債権比率は、同+0.08%上昇し、1.69%(同▲3.32%)となりました。

親和銀行単体

- 金融再生法開示債権は、21年9月末比▲6億円減少し、385億円(前年同期比▲1,302億円)となりました。
- 不良債権比率は、同▲0.07%低下し、3.19%(同▲9.54%)となりました。

■ 開示不良債権残高・比率(部分直接償却後)

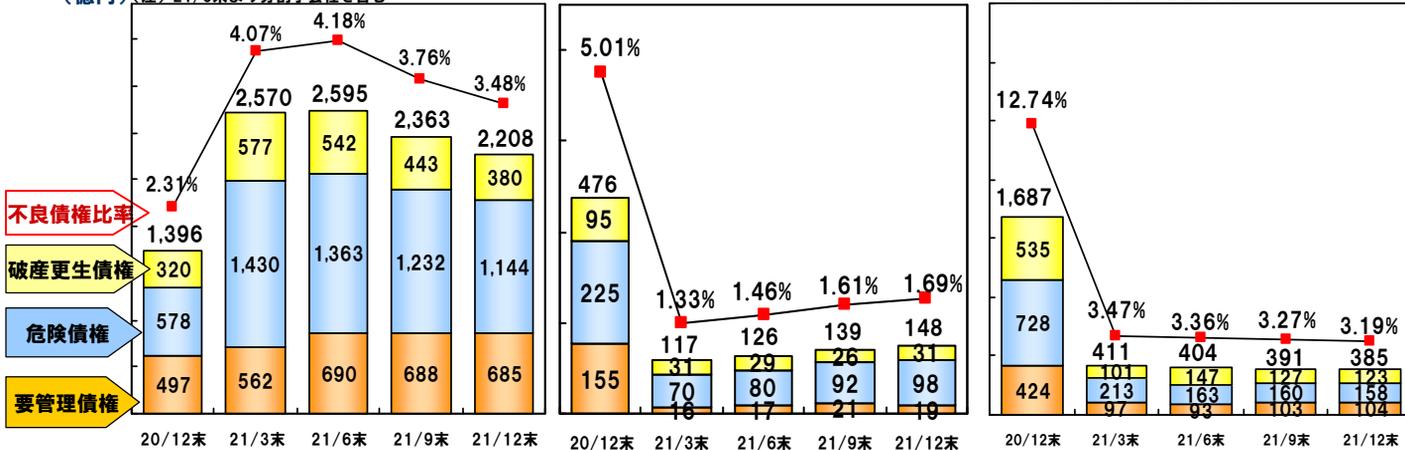
福岡銀行単体+分割子会社

熊本ファミリー銀行単体

親和銀行単体

(億円)(注) 21/3末より分割子会社を含む

(注) 20/12末は分割子会社を含む



(注) 上記グラフの平成21年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。また、各開示区分の金額は、平成21年9月末から平成21年12月末までの倒産・不渡り等の客観的な事実及び各子銀行の行内格付の変動を反映させた同12月末時点での債務者格付・自己査定基準に基づく残高を記載しております。

【債務者区分との関係】

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・「実質破綻先」及び「破綻先」の債権
- 危険債権・・・「破綻懸念先」の債権
- 要管理債権・・・要注意先のうち、債権毎の区分で「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権